

事務事業評価表 平成24年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 交通環境の充実
 基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 中原通り道路工事関連用地取得事業

[0924]

部名	建設部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	管理課	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか) 土地 (中原通りと市道接続部の隅切用地)</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段) ・公共事業用地内の土地や支障物件の評価 ・算定価格に基づく地権者との協議 ・地権者合意に基づき、当該道路整備に必要な土地を取得 ・売買契約締結後の登記事務</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 公共事業の為に必要な土地を確保し、当該道路の整備を行う</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	地権者数	人		7	6	
対象指標2						
活動指標1	評価件数	件		1	3	0
活動指標2	交渉回数	回		4	3	
成果指標1	契約地権者数	人		1	3	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	102	387	0
正職員人件費 (B)		千円	0	1,612	1,605	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	1,714	1,992	0

費用内訳	
23年度	委託料 89千円、公有財産購入費 298千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	公共用地取得に関する協議は、年々厳しさを増しており、今後さらに困難な状況になると考えられる。
--------	--	-------------	--

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

公共事業に伴う用地補償であり市が行う業務である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

江別の顔づくり事業の1事業として実施し、都心地区の整備と充実を図り、より快適な市民生活を目指している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

当事業は概ね予定どおり終了したため。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

当事業は概ね予定どおり終了したため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

当事業は概ね予定どおり終了したため。